

議案第 1 3 号

明石市都市景観条例及び明石市屋外広告物条例の一部を
改正する条例制定のこと

明石市都市景観条例及び明石市屋外広告物条例の一部を改正する条例を次のよう
に制定する。

令和 8 年 2 月 1 9 日提出

明石市長 丸 谷 聡 子

明石市都市景観条例及び明石市屋外広告物条例の一部を改正する条例
(明石市都市景観条例の一部改正)

第1条 明石市都市景観条例（平成4年条例第1号）の一部を次のように改正する。

改 正	現 行
<p>目次</p> <p>第1章 （略）</p> <p>第2章 都市景観の形成</p> <p>第1節 （略）</p> <p>第2節 <u>景観計画（第7条―第9条）</u></p> <p>第3節 <u>行為の規制等（第10条―第14条）</u></p> <p>第4節 <u>景観重要建造物及び景観重要樹木（第15条・第16条）</u></p> <p>第5節 <u>都市景観形成重要建築物等（第17条―第20条）</u></p> <p>第6節 <u>公共施設景観指針（第21条）</u></p> <p>第3章 都市景観形成市民団体（<u>第22条</u>）</p> <p>第4章 表彰及び助成（<u>第23条・第24条</u>）</p> <p>第5章 都市景観審議会（<u>第25条</u>）</p> <p>第6章 雑則（<u>第26条</u>）</p> <p>附則</p> <p>（目的）</p> <p>第1条 この条例は、<u>都市景観の形成に関する基本的な事項及び景観法（平成16年法律第110号。以下「法」という。）の施行に関し必要な事項を定めることにより、都市景観の形成について市民一人ひとりの意識の醸成を図り、もって個性豊かで美しい明石のまちづくりに寄与することを目的とする。</u></p> <p>（定義）</p> <p>第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。</p> <p>（1）～（3） （略）</p> <p>（4） <u>対象工作物</u> 建築基準法第88条第1項及び第2項に規定する工作物で広告物以外のもの並びに規則で定めるものをいう。</p>	<p>目次</p> <p>第1章 （略）</p> <p>第2章 都市景観の形成</p> <p>第1節 （略）</p> <p>第2節 <u>都市景観形成重要建築物等（第7条―第10条）</u></p> <p>第3節 <u>都市景観形成地区（第11条―第15条）</u></p> <p>第4節 <u>都市景観の形成に大きな影響を及ぼす行為（第16条―第18条）</u> <u>（新 設）</u></p> <p><u>（新 設）</u></p> <p>第3章 都市景観形成市民団体（<u>第19条</u>）</p> <p>第4章 表彰及び助成（<u>第20条・第21条</u>）</p> <p>第5章 都市景観審議会（<u>第22条</u>）</p> <p>第6章 雑則（<u>第23条</u>）</p> <p>附則</p> <p>（目的）</p> <p>第1条 この条例は、<u>快適な都市環境の創造について、すぐれた都市景観が果たす役割が重要なことに鑑み、都市景観の形成に関する施策の基本を明らかにするとともに、都市景観を保全し、育成し、又は創造することによって、ゆとりとうるおいのある美しいまちづくりに寄与することを目的とする。</u></p> <p>（定義）</p> <p>第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。</p> <p>（1）～（3） （略）</p> <p>（4） <u>工作物</u> 建築基準法第88条第1項及び第2項に規定する工作物で広告物以外のもの並びに規則で定めるものをいう。</p>

(5) 建築物等 建築物、対象工作物及び広告物をいう。

(6) 建築等 法第16条第1項第1号に規定する建築等をいう。

(7) 建設等 法第16条第1項第2号に規定する建設等をいう。

(市長の責務)

第3条 (略)

2～3 (略)

4 市長は、道路、公園その他の公共施設及び公益施設の整備に関する事業（以下「公共施設等整備事業」という。）を行う場合には、都市景観の形成に先導的役割を果たすよう努めなければならない。

5 (略)

第4条～第5条 (略)

(都市景観形成基本計画の策定)

第6条 (略)

2 市長は、都市景観形成基本計画を策定し、又は変更しようとするときは、あらかじめ、明石市都市景観審議会の意見を聴かなければならない。

第2節 景観計画

(景観計画の策定)

第7条 市長は、都市景観形成基本計画に即して、法第8条第1項に規定する景観計画（以下「景観計画」という。）を策定しなければならない。

2 市長は、法第8条第2項第1号に規定する景観計画区域（以下「景観計画区域」という。）のうち、次の各号のいずれかに該当する区域を、景観重点地区として景観計画に定めることができる。

(1) 地域の景観の核となるような景観資源がある区域

(2) 都市景観の形成のために計画的に整備する必要がある区域

(3) その他都市景観の形成のために市長が必要と認める区域

(5) 建築物等 建築物、工作物及び広告物をいう。

(新 設)

(新 設)

(市長の責務)

第3条 (略)

2～3 (略)

4 市長は、道路、公園その他の公共施設及び公益施設の整備_____を行う場合には、都市景観の形成に先導的役割を果たすよう努めなければならない。

5 (略)

第4条～第5条 (略)

(都市景観形成基本計画の策定)

第6条 (略)

2 市長は、都市景観形成基本計画を策定しようとするときは、あらかじめ第22条第1項に規定する審議会の意見を聴かなければならない。

第2節 都市景観形成重要建築物等

(都市景観形成重要建築物等の指定)

第7条 市長は、都市景観の形成上重要な価値があると認める建築物又は工作物（これらと一体となって、すぐれた都市景観を形成している物を含む。）で、次の各号のいずれかに該当するものを都市景観形成重要建築物又は都市景観形成重要工作物（以下「都市景観形成重要建築物等」という。）として指定することができる。

(1) 地区の都市景観を特徴付けている建築物又は工作物

(2) 歴史的価値又は建築的価値のある建築物又は工作物

(3) 市民に親しまれている建築物又は工作物

2 市長は、都市景観形成重要建築物等を指定

3 市長は、景観計画を策定し、又は変更しようとするときは、あらかじめ、明石市都市景観審議会の意見を聴かなければならない。

(計画提案をすることができる団体)

第8条 法第11条第2項の条例で定める団体は、都市景観形成市民団体その他一定の区域における都市景観の形成を目的として設立された団体であって、規則で定めるものとする。

(計画提案を踏まえた景観計画の策定等をしていない場合にとるべき措置)

第9条 市長は、法第14条第1項の規定による通知をしようとするときは、あらかじめ、明石市都市景観審議会に計画提案に係る景観計画の素案を提出してその意見を聴かなければならない。

第3節 行為の規制等

(届出を要しない行為)

第10条 法第16条第7項第11号に規定する条例

しようとするときは、あらかじめその所有者、管理者及び占有者（以下「所有者等」という。）の同意を得なければならない。

3 市長は、都市景観形成重要建築物等が滅失、損傷等により都市景観の形成上価値を失ったとき又は特別の事情があると認めるときは、第1項の規定による指定を解除することができる。

4 前条第2項の規定は、都市景観形成重要建築物等の指定及び指定の解除について準用する。

5 市長は、都市景観形成重要建築物等の指定及び指定の解除をしたときは、これを告示しなければならない。

(保全計画及びその遵守)

第8条 市長は、前条第1項の規定による指定をしたときは、都市景観形成重要建築物等を保全するための計画（以下「保全計画」という。）を定めるものとする。

2 第6条第2項及び前条第5項の規定は、保全計画の設定及び変更について準用する。

3 都市景観形成重要建築物等の所有者等は、保全計画に適合した管理を行うよう努めなければならない。

(都市景観形成重要建築物等に係る行為の届出)

第9条 都市景観形成重要建築物等の所有者等は、当該建築物等の現状の変更をしようとするときは、規則で定めるところにより、あらかじめその内容を市長に届け出なければならない。所有権を移転し、又は所有権以外の権利を設定し、若しくは移転しようとするときも同様とする。

2 前項の規定は、通常の管理行為、軽易な行為その他の行為で規則で定めるものについては適用しない。

(新 設)

(都市景観形成重要建築物等に係る助言又は指導)

で定める行為は、次の各号に掲げる景観計画区域の区分に応じ、当該各号に定める行為とする。

(1) 景観重点地区 次に掲げる行為以外の行為

ア 建築物（建築基準法第85条の規定の適用を受ける仮設建築物を除く。次号において同じ。）の建築等（外観を変更することとなる修繕若しくは模様替又は色彩の変更（以下「修繕等」という。）にあつては、当該修繕等に係る部分の面積が外観の面積の過半にわたるものに限る。次号において同じ。）

イ 対象工作物の建設等（修繕等にあつては、当該修繕等に係る部分の面積が外観の面積の過半にわたるものに限る。以下この号及び次号において同じ。）

ウ 高架道路、高架鉄道、横断歩道橋、跨線橋その他これらに類するもの（次号において「高架構造物」という。）の建設等

エ 橋梁その他これに類するもの（次号において「橋梁等」という。）の建設等

(2) 景観重点地区以外の景観計画区域 次に掲げる行為以外の行為

ア 規則で定める規模の建築物の建築等（増築にあつては、増築部分の規模が規則で定める規模であるものに限る。）

イ 規則で定める規模の対象工作物の建設等（増築にあつては、増築部分の規模が規則で定める規模であるものに限る。）

ウ 高さが5メートルを超える高架構造物の建設等（増築にあつては、増築部分の高さが5メートルを超えるものに限る。）

エ 幅員が10メートルを超え、又は延長が30メートルを超える橋梁等の建設等（増築にあつては、増築部分の幅員が10メートルを超え、又は延長が30メートルを超えるものに限る。）

第10条 市長は、前条第1項の規定による届出があつた場合において、当該届出に係る行為が保全計画に適合しないと認めるときは、当該行為をしようとする者に対し、必要な措置を講ずるよう助言し、又は指導することができる。

2 市長は、前項の規定により助言し、又は指導する場合において必要と認めるときは、第22条第1項に規定する審議会の意見を聴くことができる。

(削　　る)

(届出に係る手続)

第11条 景観法施行規則（平成16年国土交通省令第100号）第1条第2項第4号の条例で定める図書は、平面図その他の規則で定める図書とする。

2 法第16条第1項又は第2項の規定による届出をした者は、当該届出に係る行為が完了したときは、規則で定めるところにより、速やかに、その旨を市長に報告しなければならない。

3 前項の規定は、法第16条第5項後段の規定による通知をした者について準用する。この場合において、前項中「法第16条第1項又は第2項の規定による届出」とあるのは「法第16条第5項後段の規定による通知」と、「当該届出」とあるのは「当該通知」と、「報告しなければならない」とあるのは「通知しなければならない」と読み替えるものとする。

(助言若しくは指導、勧告又は変更命令)

第12条 市長は、法第16条第1項又は第2項の規定による届出があった場合において、都市景観の形成のために必要と認めるときは、当該届出をした者に対し、当該届出に係る行為に関し必要な措置を講ずるよう助言し、又は指導することができる。

2 市長は、前項の規定による助言又は指導をする場合において必要と認めるときは、明石市都市景観審議会の意見を聴くことができる。

第3節 都市景観形成地区

(都市景観形成地区の指定)

第11条 市長は、都市景観の形成を図るため、次の各号のいずれかに該当する地区を都市景観形成地区として指定することができる。

(1) 海岸、田園、溜池、河川等の自然と調和した都市景観を形成している地区

(2) 歴史的な雰囲気を残し、特色ある都市景観を形成している地区

(3) 公園又は緑地を中心に良好な都市景観を形成している地区

(4) 住宅、商業業務施設又は工業施設が一団をなし、まとまりのある都市景観を形成している地区

(5) 主要な道路に沿って特色ある都市景観を形成している地区

(6) 都市景観の形成のために計画的に整備していく必要のある地区

(7) その他都市景観の形成のために市長が必要と認める地区

2 市長は、前項の規定により都市景観形成地区を指定しようとするとき又は指定を変更しようとするときは、あらかじめ当該地区の住民その他規則で定める利害関係人の意見を聴かななければならない。

3 第6条第2項及び第7条第5項の規定は、都市景観形成地区の指定及びその変更について準用する。

(都市景観形成基準)

第12条 市長は、都市景観形成地区を指定したときは、当該地区における都市景観の形成を図るための基準（以下「都市景観形成基準」という。）を定めるものとする。

2 都市景観形成基準は、次の各号に掲げる事項のうち、当該地区の特性に応じ、必要なものについて定めるものとする。

(1) 当該地区の都市景観の形成に関する基本方針

(2) 建築物等の敷地内における位置、規模、

3 前項の規定は、法第16条第3項の規定による勧告又は法第17条第1項若しくは第5項の規定による命令をする場合に準用する。

(特定届出対象行為)

第13条 法第17条第1項に規定する特定届出対象行為は、法第16条第1項第1号及び第2号に掲げる行為のうち、同項の規定による届出を要する行為とする。

(公表)

第14条 市長は、法第16条第3項の規定による勧告を受けた者が、当該勧告に従わないときは、その者の氏名及び住所（法人にあっては、法人名及び法人の所在地）並びに当該勧告の内容を公表することができる。

2 市長は、前項の規定による公表を行おうとするときは、あらかじめ、当該勧告を受けた者に当該公表を行う理由を付してその旨を通知し、当該者に意見を述べる機会を与えなければならない。

3 市長は、第1項の規定による公表を行おうとするときは、あらかじめ、明石市都市景観審議会の意見を聴かなければならない。

意匠及び色彩並びに建築物にあっては1階部分及び屋上部分の形態

(3) 土地の形質

(4) 樹木及び竹林の態様

(5) その他都市景観の形成のために市長が必要と認める事項

3 第6条第2項及び第7条第5項の規定は、都市景観形成基準の設定及びその変更について準用する。

(都市景観形成地区内における行為の届出)

第13条 都市景観形成地区内において、次の各号のいずれかに該当する行為をしようとする者は、規則で定めるところにより、あらかじめその内容を市長に届け出なければならない。

(1) 建築物等の新築、増築、改築若しくは移転、大規模の修繕若しくは模様替又は外観の色彩の変更

(2) 土地の形質の変更

(3) 樹木及び竹林の伐採又は植栽

(4) その他都市景観の形成に影響を及ぼす行為で規則で定めるもの

2 前項の規定は、通常の管理行為、軽易な行為その他の行為で規則で定めるものについては適用しない。

(都市景観形成基準の遵守)

第14条 都市景観形成地区内において、前条第1項各号のいずれかに該当する行為をしようとする者は、都市景観形成基準に適合するよう努めなければならない。

第4節 景観重要建造物及び景観重要樹木

(指定又は指定の解除)

第15条 市長は、法第19条第1項の規定による同項に規定する景観重要建造物（以下「景観重要建造物」という。）の指定又は法第28条第1項の規定による同項に規定する景観重要樹木（以下「景観重要樹木」という。）の指定をしようとするときは、あらかじめ、明石市都市景観審議会の意見を聴かなければならない。

2 市長は、景観重要建造物又は景観重要樹木の指定をしたときは、その旨を告示するものとする。

3 前2項の規定は、法第27条第1項若しくは第2項の規定による景観重要建造物の指定の解除又は法第35条第1項若しくは第2項の規定による景観重要樹木の指定の解除について準用する。

(削る)

(現状変更許可、原状回復命令又は管理に関する命令若しくは勧告)

第16条 市長は、法第22条第1項又は法第31条第1項の規定による許可をする場合において必要と認めるときは、明石市都市景観審議会の意見を聴くことができる。

2 市長は、法第23条第1項（法第32条第1項において準用する場合を含む。）の規定による命令をする場合において必要と認めるときは、明石市都市景観審議会の意見を聴くことができる。

3 市長は、法第26条又は法第34条の規定による命令又は勧告をする場合において必要と認めるときは、明石市都市景観審議会の意見を聴くことができる。

第5節 都市景観形成重要建築物等

(指定又は指定の解除)

第17条 市長は、都市景観の形成上重要な価値

(新設)

(都市景観形成地区内における行為に係る助言又は指導)

第15条 市長は、第13条第1項の規定による届出があった場合においては、当該届出に係る行為が都市景観形成基準に適合しないと認めるときは、当該行為をしようとする者に対し、必要な措置を講ずるよう助言し、又は指導することができる。

2 第10条第2項の規定は、前項の規定による助言又は指導について準用する。

第4節 都市景観の形成に大きな影響を及ぼす行為

(都市景観の形成に大きな影響を及ぼす行為の届出)

第16条 都市景観形成地区外において、都市景観の形成に大きな影響を及ぼす次の各号のいずれかに該当する行為をしようとする者は、規則で定めるところにより、あらかじめその内容を市長に届け出なければならない。

(1) 規則で定める建築物等の新築、増築、改築若しくは移転、大規模の修繕若しくは模様替又は外観の色彩の変更

(2) その他規則で定める行為

2 第6条第2項の規定は、前項第1号の建築物等を定める場合及び同項第2号の行為を定める場合について準用する。

(新設)

(誘導基準)

第17条 市長は、都市景観形成地区外における

があると認める建築物又は対象工作物（これらと一体となって、優れた都市景観を形成している物を含む。）で、次の各号のいずれかに該当するものを都市景観形成重要建築物又は都市景観形成重要工作物（以下「都市景観形成重要建築物等」という。）として指定することができる。

（１） 地区の都市景観を特徴付けている建築物又は対象工作物

（２） 歴史的価値又は建築的価値のある建築物又は対象工作物

（３） 市民に親しまれている建築物又は対象工作物

２ 市長は、都市景観形成重要建築物等の指定をしようとするときは、あらかじめ、その所有者、管理者及び占有者（以下「所有者等」という。）の同意を得なければならない。

３ 市長は、都市景観形成重要建築物等の指定をしようとするときは、あらかじめ、明石市都市景観審議会の意見を聴かなければならない。

４ 市長は、都市景観形成重要建築物等の指定をしたときは、その旨を告示するものとする。

５ 市長は、都市景観形成重要建築物等が滅失、損傷等により都市景観の形成上価値を失ったとき又は特別の事情があると認めるときは、第１項の規定による指定を解除することができる。

６ 第３項及び第４項の規定は、前項の規定による都市景観形成重要建築物等の指定の解除について準用する。

（保全計画及びその遵守）

第18条 市長は、前条第１項の規定による指定をしたときは、都市景観形成重要建築物等を保全するための計画（以下「保全計画」という。）を定めるものとする。

２ 市長は、保全計画を策定し、又は変更しようとするときは、あらかじめ、明石市都市景観審議会の意見を聴かなければならない。

前条第１項の行為について、都市景観の形成のための誘導基準（以下「誘導基準」という。）を定めるものとする。

２ 第６条第２項及び第７条第５項の規定は、誘導基準の設定及びその変更について準用する。

（都市景観の形成に大きな影響を及ぼす行為に係る助言又は指導）

第18条 市長は、第16条第１項の規定による届出があった場合において、当該届出に係る行為が誘導基準に適合しないと認めるときは、当該行為をしようとする者に対し、必要な措置を講ずるよう助言し、又は指導することができる。

3 市長は、保全計画を策定し、又は変更したときは、その旨を告示するものとする。

4 都市景観形成重要建築物等の所有者等は、保全計画に適合した管理を行うよう努めなければならない。

(行為の届出)

第19条 都市景観形成重要建築物等の所有者等は、当該都市景観形成重要建築物等の現状の変更をしようとするときは、規則で定めるところにより、あらかじめ、その内容を市長に届け出なければならない。所有権を移転し、又は所有権以外の権利を設定し、若しくは移転しようとするときも同様とする。

2 前項の規定は、通常 of 管理行為、軽易な行為その他の行為で規則で定めるものについては適用しない。

(助言又は指導)

第20条 市長は、前条第1項の規定による届出があった場合において、当該届出に係る行為が保全計画に適合しないと認めるときは、当該行為をしようとする者に対し、必要な措置を講ずるよう助言し、又は指導することができる。

2 市長は、前項の規定による助言又は指導をする場合において必要と認めるときは、明石市都市景観審議会の意見を聴くことができる。

第6節 公共施設景観指針

(公共施設景観指針)

第21条 市長は、公共施設等整備事業に関し、都市景観の形成を図るための指針（以下「景観指針」という。）を定めるものとする。

2 市長は、景観指針を策定し、又は変更しようとするときは、あらかじめ、明石市都市景観審議会の意見を聴かななければならない。

3 市長は、公共施設等整備事業を行うときは、景観指針に適合するよう努めなければならない。

4 市長は、国、県その他公共施設等整備事業

2 第10条第2項の規定は、前項の規定による助言又は指導について準用する。

(新 設)

(新 設)

(新 設)

(新 設)

<p><u>を行う者に対し、当該公共施設等整備事業が 景観指針に適合するよう要請するものとする。</u></p> <p><u>第22条</u> (略)</p> <p><u>第23条</u> (略)</p> <p>(助成等)</p> <p><u>第24条</u> (略)</p> <p>2 市長は、予算の範囲内において、次の各号 に掲げるものに対し、当該各号に規定する経 費の一部を助成することができる。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) <u>都市景観形成重要建築物等、景観重要 建造物又は景観重要樹木の所有者等 都市 景観形成重要建築物等、景観重要建造物又 は景観重要樹木の修復等に要する経費</u></p> <p>(3) <u>都市景観形成市民団体その他都市景観 の形成を目的として設立された団体であっ て市長が認めるもの 都市景観の形成のた めの活動に要する経費</u></p> <p><u>第25条</u> (略)</p> <p><u>第26条</u> (略)</p>	<p><u>第19条</u> (略)</p> <p><u>第20条</u> (略)</p> <p>(助成等)</p> <p><u>第21条</u> (略)</p> <p>2 市長は、予算の範囲内において、次の各号 に掲げるものに対し、当該各号に規定する経 費の一部を助成することができる。</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) <u>都市景観形成重要建築物等</u> <u>の所有者等 都市</u> <u>景観形成重要建築物等</u> <u>の修復等に要する経費</u></p> <p>(3) <u>都市景観形成市民団体</u> <u>都市景観の形成のた めの活動に要する経費</u></p> <p><u>第22条</u> (略)</p> <p><u>第23条</u> (略)</p>
<p>備考</p> <p>1 改正部分は、下線の部分である。</p> <p>2 改正の欄に「(削 る)」とある場合は、現行の欄の改正部分を削る。</p> <p>3 現行の欄に「(新 設)」とある場合は、改正の欄の改正部分を加える。</p>	

(明石市屋外広告物条例の一部改正)

第2条 明石市屋外広告物条例（平成29年条例第61号）の一部を次のように改正する。

改 正	現 行
<p>(禁止地域等)</p> <p>第10条 次に掲げる区域、地域又は場所（以下「禁止地域等」という。）においては、広告物等を表示し、又は設置してはならない。</p> <p>(1)～(2) (略)</p> <p>(3) 明石市都市景観条例（平成4年条例第1号）<u>第17条第1項</u>の規定により指定された都市景観形成重要建築物の敷地（市長が指定する区域を除く。）</p> <p>(4)～(20) (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>第11条～第51条 (略)</p> <p>(審議会の意見聴取)</p> <p>第52条 市長は、第8条第2項の規定により許可をしようとする場合、第9条第1項若しくは第33条第1項の規定により特別規制地区若しくは広告景観モデル地区を指定し、若しくは変更しようとする場合、第9条第3項の規定により特別規制地区に係る許可の基準を定めようとする場合、第10条第1項第1号から第3号まで、第7号から第12号まで及び第14号から第17号まで、第11条第1項第6号並びに第12条第2項第8号及び第3項第3号に規定する区域、第10条第1項第20号に規定する地域若しくは場所若しくは第11条第1項第12号及び第13号に規定する物件を指定し、若しくはこれらを変更しようとする場合又は第34条第1項の規定により広告景観モデル地区基本方針若しくは広告景観形成基準を策定し、若しくは変更しようとする場合は、必要に応じて明石市都市景観条例<u>第25条第1項</u>に規定する明石市都市景観審議会の意見を聴くことができる。</p> <p>以 下 略</p>	<p>(禁止地域等)</p> <p>第10条 次に掲げる区域、地域又は場所（以下「禁止地域等」という。）においては、広告物等を表示し、又は設置してはならない。</p> <p>(1)～(2) (略)</p> <p>(3) 明石市都市景観条例（平成4年条例第1号）<u>第7条第1項</u>の規定により指定された都市景観形成重要建築物の敷地（市長が指定する区域を除く。）</p> <p>(4)～(20) (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>第11条～第51条 (略)</p> <p>(審議会の意見聴取)</p> <p>第52条 市長は、第8条第2項の規定により許可をしようとする場合、第9条第1項若しくは第33条第1項の規定により特別規制地区若しくは広告景観モデル地区を指定し、若しくは変更しようとする場合、第9条第3項の規定により特別規制地区に係る許可の基準を定めようとする場合、第10条第1項第1号から第3号まで、第7号から第12号まで及び第14号から第17号まで、第11条第1項第6号並びに第12条第2項第8号及び第3項第3号に規定する区域、第10条第1項第20号に規定する地域若しくは場所若しくは第11条第1項第12号及び第13号に規定する物件を指定し、若しくはこれらを変更しようとする場合又は第34条第1項の規定により広告景観モデル地区基本方針若しくは広告景観形成基準を策定し、若しくは変更しようとする場合は、必要に応じて明石市都市景観条例<u>第22条第1項</u>に規定する明石市都市景観審議会の意見を聴くことができる。</p> <p>以 下 略</p>

備考	
1 改正部分は、下線の部分である。	
2 改正の欄に「（削る）」とある場合は、現行の欄の改正部分を削る。	
3 現行の欄に「（新設）」とある場合は、改正の欄の改正部分を加える。	

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、令和8年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の日前に、第1条の規定による改正前の明石市都市景観条例第13条第1項又は第16条第1項の規定により届出がされた行為については、なお従前の例による。

（提案理由）

本案は、景観法に基づく景観計画を策定し、法と条例による景観行政を推進することにより、都市景観の形成を図るため、条例の一部を改正しようとするものである。